

祝日本一！

池上文二選手（建浜出身）が 第62回全日本大学サッカー選手権大会で チームの日本一に貢献



(C) Koki NAGAHAMA

28年ぶりの日本一に国立競技場が湧く。「第62回全日本大学サッカー選手権大会」は昨年12月14日から25日まで、国立競技場をメイン会場に行われ、池上文二選手（建浜）が所属する大阪体育大学が28年振りの日本一に輝き、池上選手が同チームの優勝に貢献しました。

池上選手は1年生ながら、

約200人の部員の中からレギュラーに選ばれ、全試合で先発出場。守備と攻撃の間でゲームをコントロールするMF（ミッドフィールダー）として、縦横無尽にフィールドを駆け巡り、準決勝では1得点、決勝では1アシストを挙げる活躍を見せました。池上選手は「決勝は国立競技場という特別な舞台でしたが、特に緊張



▲28年振りの優勝を手にして歓喜の表情を見せる選手たち(池上選手写真下段左)

することもなく楽しくプレーができました」。

池上選手は清里小学校、長洲中学校出身で小中学校時は地元サッカークラブ「バレイASC」でプレー。高校は青森県の強豪校である青森山田高校にサッカー留学し、高校3年時は同県代表として全国大会に出場しています。昨年、大阪体育大学に入学し、チームの勝利のために日々厳しい練習を行っています。

大会後、帰郷した池上選手は1月6日、中逸町長に優勝報告を行いました。報告を



▲中逸町長へ選手権の優勝報告を行った池上選手(左)と中逸町長

受けた中逸町長は「長洲町出身の人が全国で活躍しているのは、町民にとって名誉なこと。本当にうれしく思います。ぜひ日本を飛び出し、世界で活躍できるような選手を目指して頑張ってほしい」と激励しました。

池上選手は「自分の持ち味はドリブルで相手を抜くこと。これからもそれを生かしながら、チームの勝利に貢献して、今年も日本一を目指して頑張っていきたいです」と新たな決意に表情を引き締めました。

Profile



池上 文二
Ikegami joji

幼稚園の時にサッカーと出会い、中学3年までバレイASCに所属。平成25年大阪体育大学に入学。サッカーに明け暮れる日々を送る。1994年11月6日生まれ。19歳。建浜区。